

取扱説明書

LGデジタルサイネージ (サイネージモニター)

このたびはLGサイネージモニター製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

49VL5G

目次

安全上のご注意	3
- ACアダプターと電源に関するご注意	4
- 本製品を移動する際の注意	6
- 本製品設置の際の注意	7
- 製品のお手入れに関する注意事項	9
- 本製品使用の際の注意	10
- リモコンを使用するときの注意事項	12
- 残像が発生するときの注意事項	13
- 本製品の廃棄	13
組み立てと準備	14
- 各部名称	15
- ポートレイアウト	15
- パネルを保護する保管方法	16
- 設置に関する安全および注意事項	18
- 壁への取り付け	20
- 外部機器のセットアップ	22
- ディスプレイのタイリング	23
リモコン	26
接続	28
- PCへの接続	28
- 外部機器接続	28
- 使用できる入力の種類	29
- デイジーチェーンでのモニター接続	30
トラブルシューティング	31
製品仕様	34
ライセンス	36

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

予期しない危険や製品の不具合が発生しないよう、本製品を正しく、安全にご使用いただくことを目的としています。

警告

警告に従わない場合、重大な負傷もしくは死亡するおそれや、重大な事故が発生するおそれがあります。

注意

注意に従わない場合、負傷したり、製品が破損するおそれがあります。

警告

- 本製品は屋外には設置できません。設置業者が設置して、屋内でのみ使用してください。

ACアダプターと電源に関するご注意

⚠ 警告

- 電源コードやACアダプターは、必ずLG Electronics, Inc.が提供または認定したものを使用してください。付属品以外の電源コードを使用する場合は、法律、法令の基準を満たしているかご確認ください。電源コードに何らかの異常が見られる場合は、速やかに使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- 製品仕様に記載される定格電力に合致するコンセントに接続してください。
 - 本製品の故障、火災、感電につながるおそれがあります。接続するコンセントの定格電力が不明の場合は、設置業者または、販売元にご相談ください。
- 電源コードは必ずアース付きコンセントに接続してください。
 - 感電、負傷、本製品の破損につながるおそれがあります。
- 電源プラグまたはACアダプターが緩まないように、根元までしっかりと挿入してください。
 - 不完全な接続は、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 落雷時は電源コードや信号ケーブルに触れないでください。
 - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- 電源コードやACアダプターの上に乗ったり、重いもの（家電製品、衣類など）を乗せないでください。また、電源コードまたはACアダプターを曲げたり、過度の力で引き抜いたりしないでください。
 - 電源コードの破損、断線により、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 傷の入った電源コードまたはACアダプターをコンセントに接続しないでください。
 - 火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードの一端がコンセントに接続されているとき、電気を通しやすいもの（クリップなどの金属製品）でもう一端に触れないでください。また、電源コードを取り外した直後に触れないでください。
 - 火災や感電のおそれがあります。
- マルチタップを使用する場合は、電気製品を多数接続しないでください。また、消費電力の大きな製品（電熱器や電気ストーブなど）を同じタップに接続しないでください。
 - 異常発熱により火災が発生するおそれがあります。

- 本製品の内部に水分や異物が混入した場合、すみやかに電源コードを抜いてカスタマーセンターにご相談ください。
 - 本製品が損傷し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードまたはACアダプターを加熱装置から離してください。
 - コードの被膜が溶けて、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードやACアダプターを分解、修理、改造しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 主電源遮断装置は電源コードであり、いつでも抜き差しできるコンセントの近くに本製品を設置してください。
- 本製品はACコンセントに接続されているかぎり、電源をオフにしても、AC電源からは切断されません。
- 電源プラグを外した場合のみ、消費電力が「0（ゼロ）」になります。
- 断路装置として、電源接続器を使用してください。

注意

- コンセント、電源プラグのピン、ACアダプターにほこりや異物が付着している場合は、拭き取り、清潔な状態で使用してください。
 - 付着物が過熱して、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- コンセント、電源プラグのピン、ACアダプターに水がかかった場合は、拭き取り、清潔な状態で使用してください。また、濡れた手で電源プラグやACアダプターに触れないでください。
 - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- 電源コードの抜き差しで電源のオン、オフをしないでください。電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください。
 - 感電や製品の誤作動の原因となるおそれがあります。
- 本製品の使用中にコンセントから電源コードを抜かないでください。
 - 感電または製品が故障するおそれがあります。

本製品を移動する際の注意

警告

- 本製品を移動する際は、お求めになった販売代理店または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 感電や製品の破損の原因となる恐れがあります。
- 本製品を移動する前に、電源がオフになっていること、電源コードとその他すべてのケーブルが取り外しであることを確認してください。
 - 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 本製品を移動するときは、筐体や液晶パネルに衝撃を与えないでください。
 - 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 製品を運ぶ際は、一人当たり25kg以下とし、重量に合わせた人数で作業してください。（100Kgを超える場合は吊り上げ機器を使用してください）
 - 製品が損傷している場合は、カスタマーセンターにご相談ください。感電または火災の原因となる恐れがありますので、使用しないでください。
- スタンドだけを持って製品を逆さまにしないでください。（スタンド対応モデルの場合のみ。）
 - 製品が落下し、損傷するおそれがあります。また、火傷につながる恐れがあります。

注意

- 本製品の輸送時は破損を防ぐため、本製品の梱包箱や緩衝材を使用することをお勧めします。梱包箱や緩衝材は捨てずに保管してください。

本製品設置の際の注意

⚠ 警告

- 本製品の設置については、販売代理店またはカスタマーセンターまでご相談ください。
 - 感電や製品の損傷の原因となる恐れがあります。
- 本製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。本製品をお子様の手の届かないところに保管してください、また、画面に物が投げられないよう、本製品の近くにおもちゃや物を置かないでください。
 - 本製品の破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 重い物を本製品の上に置いたり、ぶら下がるなど荷重をかけないようにしてください。
 - 本製品が倒れたり、落下により負傷するおそれがあります。
- 使用中または、使用直後は本製品が熱くなっている場合があるので、直接触れないでください。
 - 火傷につながる恐れがあります。
- 風や地震など外部からの衝撃に耐えられるよう、壁や床などへの設置はしっかりと動かないようにしてください。
 - 付属の取扱説明書を必ず参照してください。
- お子様の本製品に登ったり、ぶら下がるなど荷重をかけないように指導してください。
 - 本製品が倒れたり、落下により負傷するおそれがあります。
- 電気ヒーターまたは照明器具など発熱する物の近くに設置しないでください。
 - 火災、感電、誤動作の原因となるおそれがあります。
- ご自分で本製品を設置しないでください。ケガまたは製品の損傷のおそれがあります。設置に関するご相談は、お求めの販売代理店または、カスタマーセンターにご相談ください。
- 油類や油煙にさらされる可能性のある壁に、本製品を設置しないでください。
 - 本製品の損傷または故障の原因になる可能性があります。
- 人が通る場所に電源コードや信号ケーブルを放置しないでください。
 - 人がつまずいたり、転倒したり、怪我をする危険があります。また、感電火災、本製品の故障につながる恐れがあります。
- 接続するケーブルは短いものを使用しないでください。
 - 本製品が倒れたり落下によって、破損やケガにつながるおそれがあります。
- 本製品が落下したり筐体が破損した場合は、すみやかに電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品はほこりや水分のない乾燥した場所に設置してください。高温多湿な場所には設置しないでください。
 - 感電、火災、本製品の損傷の原因となるおそれがあります。
- 本製品の重量に十分耐えられる安全な場所に設置してください。
 - 強度が不足すると製品が落下する恐れがあります。
- 本製品で作業するときは、筋肉が緊張しないよう、快適で自然な姿勢を維持してください。

 **注意**

- 本製品は電磁干渉のない場所に設置してください。
- 推奨される条件を満たさない場所に本製品を設置すると、画質、寿命、および外観に深刻な影響が出るおそれがあります。設置する前に、お求めの販売代理店またはカスタマーセンターにご相談ください。ほこりの多い場所、油煙が発生する場所、化学物質のある場所、直射日光が当たる場所、温度が極端に高いまたは低い場所、湿度が高い場所には設置しないでください。
- 壁に設置する場合は、十分な距離（10cm以上）を空けて、通気性を確保してください。
 - 壁との距離が近すぎると、内部温度が上昇して、本製品の变形や故障、火災につながるおそれがあります。
- 本製品を設置する際、カーテンやテーブルクロスなどが通気口を塞がないよう注意してください。
 - 内部温度の上昇により、変形したり火災につながるおそれがあります。
- 通気性の悪い場所（本棚、クローゼットなど）や屋外に本製品を設置しないでください。クッションやカーペットの上に設置しないでください。
 - 内部温度の上昇により、製品が発火する恐れがあります。
- 本製品の荷重に耐えられる平らで安定した場所に設置してください。
 - 本製品の落下により、本製品の破損やケガを負うおそれがあります。
- 棚またはキャビネット上に本製品を設置するときは、製品の下端が前方に突き出していないことを確認してください。
 - 重心が不安定になることにより本製品が落下し、負傷または製品の損傷につながる恐れがあります。必ず製品に合うキャビネットや棚を使用してください。

製品のお手入れに関する注意事項

⚠ 警告

- 本製品は常に清潔な状態を保ってください。
 - 本製品を長期間お手入れしないと、製品にほこりや異物が付着し、火災または製品の損傷につながる恐れがあります。
- 製品内部のメンテナンスについては、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、火災、感電、製品の損傷のおそれがあります。
- 本製品をお手入れする場合は、コンセントから電源コードを抜いて、傷をつけないように柔らかい布で拭いてください。
 - 傷がつくと、感電または画面の損傷につながる恐れがあります。
- フロントフレームのお手入れは、柔らかい布に2~4回水を吹き付け、必ず一方向に向かって拭いてください。
 - 水分が多すぎるとしみの原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- 製品または画面のお手入れは、コンセントから電源コードを抜いて、柔らかい布で拭いてください。水や洗剤などの液体を直接本製品にかけないでください。ガラスクリーナー、消臭スプレー、殺虫剤、潤滑剤、ワックス（車、工業用）、研磨剤、揮発性溶剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使用しないでください。筐体やパネルが損傷するおそれがあります。
 - 火災、感電、本製品のパネルまたは筐体の損傷（変形、腐食、破損）の原因となるおそれがあります。

本製品使用の際の注意

⚠ 警告

- 温度や湿度が非常に高い環境で使用しないでください。
 - 本製品の故障や、感電につながる恐れがあります。
- 画面を長時間見るときは、定期的に休憩をとってください。
 - 長時間画面を見続けると眼精疲労や肩こり、視力の低下につながる恐れがあります。
- 音声を大音量または長時間出力し続けると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本製品に液体がかかったり異物が混入した場合は、速やかに電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 映像が表示されない、音声が出力されないなどの異常が見られる場合は、本製品の使用を中止し、速やかに電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
 - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 本製品から煙、異臭や異音が発生した場合は、速やかにコンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま製品を使用し続けると、感電または火災につながる恐れがあります。
- ご自身で本製品を分解、修理、改造しないでください。改造や分解による故障は保証の対象外になります。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品の上または近くに液体の入った容器や水分を含んだものを置かないでください。
 - 内部に液体が混入すると、発火、感電、誤作動、または変形するおそれがあります。
- 手や爪、鉛筆、ペンなどの鋭利なもので製品の表面を強く押ししたり引っかいたりしないでください。金属類でパネルの前面や側面に衝撃を与えたりひっかいたりしないでください。
 - 本製品の損傷または誤動作の原因になる可能性があります。
- 本製品が直射日光または強い光に曝された場合、過熱する可能性がありますので、製品に触れないでください。

- 本製品の近くで高電圧電気製品（殺虫灯など）を使用しないでください。
 - 電気の衝撃によって、本製品が誤動作する可能性があります。
- ガス漏れがある場合は、コンセントに触れずに、窓を開けて換気してください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、筐体が破損した場合は、本製品の使用を中止し、速やかに電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。製品の使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- 付属品等小さなパーツはお子様の手の届かない場所に保管してください。
 - 子供が飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- お子様の手の届かないところに本製品を保管してください。また、おもちゃや物を製品または画面に投げつけないでください。
 - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 電源コードがコンセントに差し込まれている状態では、常に微弱な電流が流れています。本製品を完全にオフにするには、電源コードを抜く必要があります。装置からすべての電源を取り除くには、電源コードを取り外し、すべての電源を切断する必要があります。

注意

- 液晶パネルまたは有機ELパネルは、数百万ピクセルの高精度な製品です。画面の一部にドット抜け（ごく小さな白、黒、赤、青、緑などの点）が見えることがあります。これは製品上の特性であり、製品不良、故障ではありません。
- 本製品の近くに引火性の物質を置いたり、保管したりしないでください。
 - 爆発または火災が発生するおそれがあります。
- 画面を見るときは適切な距離を維持してください。
 - 本製品を近くで見すぎると、視力が低下する恐れがあります。
- 製品の適切な解像度と周波数に設定してください。
 - 視力が低下する恐れがあります。
- 長時間画面を見続ける場合は、定期的に休憩をとってください。

リモコンを使用するときの注意事項

⚠ 警告

- 湿度の高い場所を避けてください。
 - 本製品の故障や、感電につながる恐れがあります。
- 直射日光、暖炉、電気ヒーターなどの暖房機器の近くなど、高温になる場所の近くに電池を保管、放置しないでください。
 - 火災または負傷につながる恐れがあります。
- リモコンの電池交換時に、子供が電池を飲み込まないようにお気をつけください。電池は子供の手の届かない場所に保管してください。
 - 子供が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池を火の中に廃棄しないでください。
 - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に電池を廃棄してください。
- 充電式電池を含む使用済電池は、ごみとは別にリサイクルしてください。
 - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に使用済電池や充電式電池を廃棄してください。

⚠ 注意

- 電池を短絡させたり、分解したりしないでください。
 - 感電または火災の原因となる恐れがあります。
- リモコンは、直射日光や強い光が当たる場所では正常に機能しない場合があります。強い光の当たる状況下で使用する場合は、製品の位置を調整してください。
- 本製品とリモコンの間に障害物がないことを確認してください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
 - 電池の過熱や液漏れにより、火災や感電のおそれがあります。
- 電池は指定されたタイプのもを使用してください。充電式ではない電池を充電器に入れないでください。
 - 電池の過熱や液漏れにより、火災や感電のおそれがあります。

残像が発生するときの注意事項

- ・ 静止画を長時間表示したままにしておくと、画面が焼き付き、残像が発生する場合があります。これは、液晶パネルまたは有機ELパネルの特性であり、焼き付きについては保証の対象外となります。焼き付きが起こらないよう、静止画を長時間表示させないでください。
 - スクリーンセーバーを使用するなど、定期的に違う映像を表示させてください。

本製品の廃棄

- ・ 本製品を一般家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。
- ・ 本製品の廃棄は、地方自治体の定める廃棄方法に則って正しく処分してください。

組み立てと準備

注意

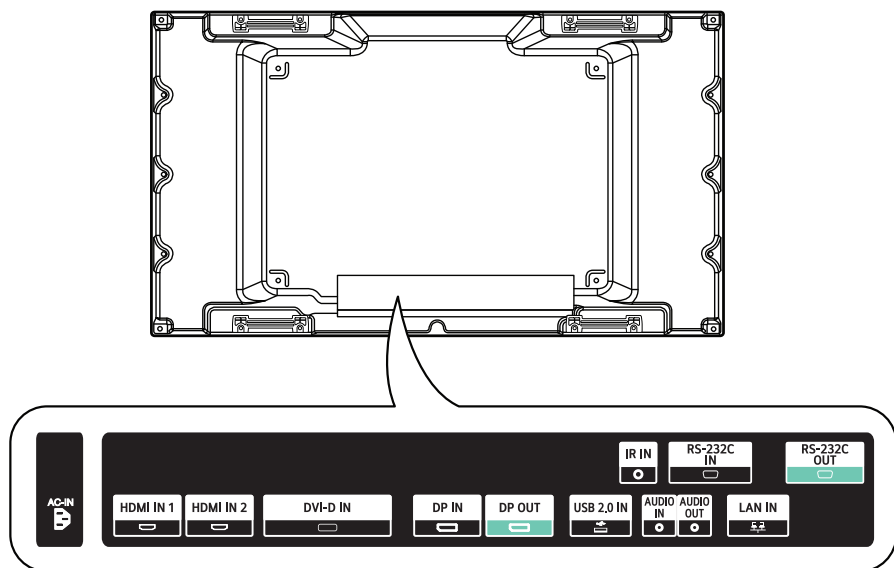
- 本製品を安全にお使いいただくため、付属品または弊社が認定した部品を使用してください。
- 付属品以外の部品の使用により発生した製品の故障、破損、負傷、事故は保証の対象外になります。

ヒント

- 製品の付属品はモデルや地域によって異なります。
- 製品仕様または取扱説明書の内容は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
- SuperSignソフトウェアおよびマニュアル
 - LG ElectronicsのWebサイトからのダウンロード。
 - LG ElectronicsのWebサイト (<http://partner.lge.com>) にアクセスして、ご使用のモデル用の最新のソフトウェアとマニュアルをダウンロードしてください。
- 本製品を極端にほこりの多い場所で使用することで発生した故障や破損は、保証の対象外になります。

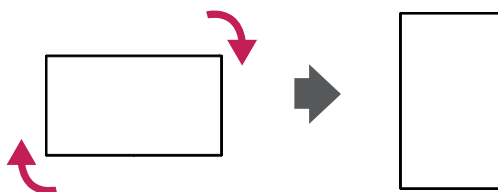
各部名称

- イラストはイメージです。モデルによって外觀がイラストと異なる場合があります。



ポートレイアウト

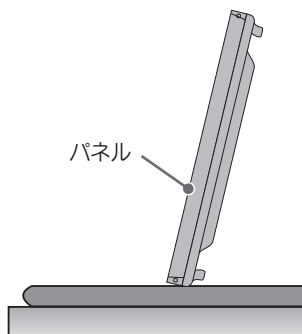
ポートレイアウトで設置する場合、モニターを（画面に向かって）時計回りで90°回転させます。



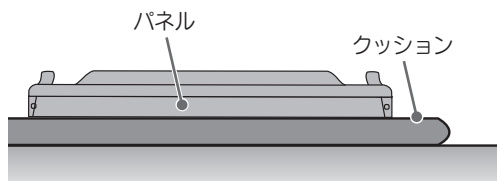
パネルを保護する保管方法

正しい方法

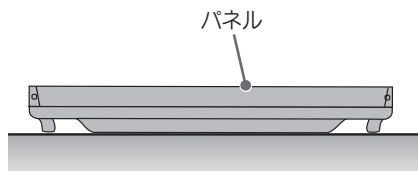
- 1 本製品を立てて設置する必要がある場合は、本製品の両側を持ち、慎重に後ろに傾けます。このときパネルが床に触れないようにします。



- 2 製品を寝かせる場合は、水平な床の上にクッションを敷き、その上に画面を下に向けて本製品を載せます。

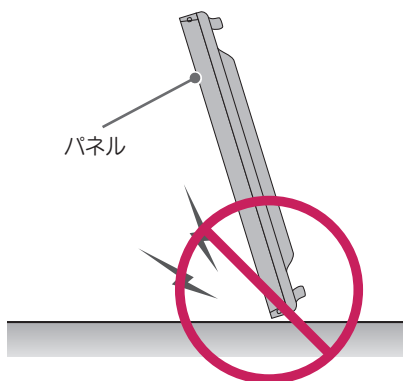


- 3 クッションがない場合は、床がきれいであることを確認してから、パネルを上向きまたは下向きにして、製品を床に丁寧に置きます。このとき、パネルの上に物が落下しないように注意してください。

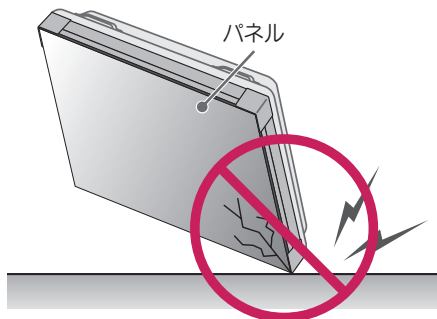


間違った方法

- 1 本製品をパネルの縁の方に傾けると、パネルの下部が破損するおそれがあります。



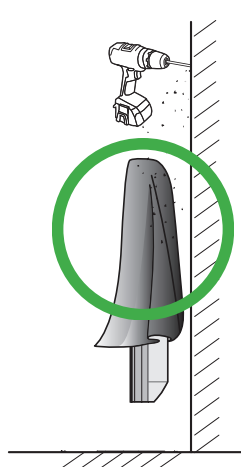
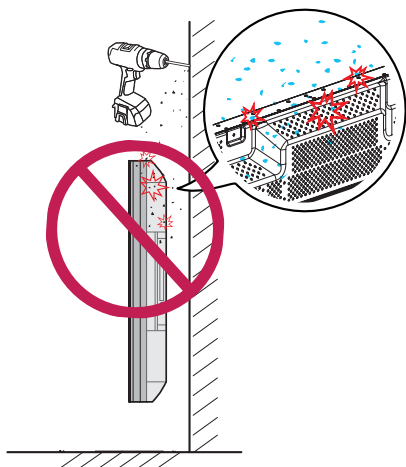
- 2 本製品をパネルの隅に向かって傾けると、パネルの最下部が損傷する可能性があります。

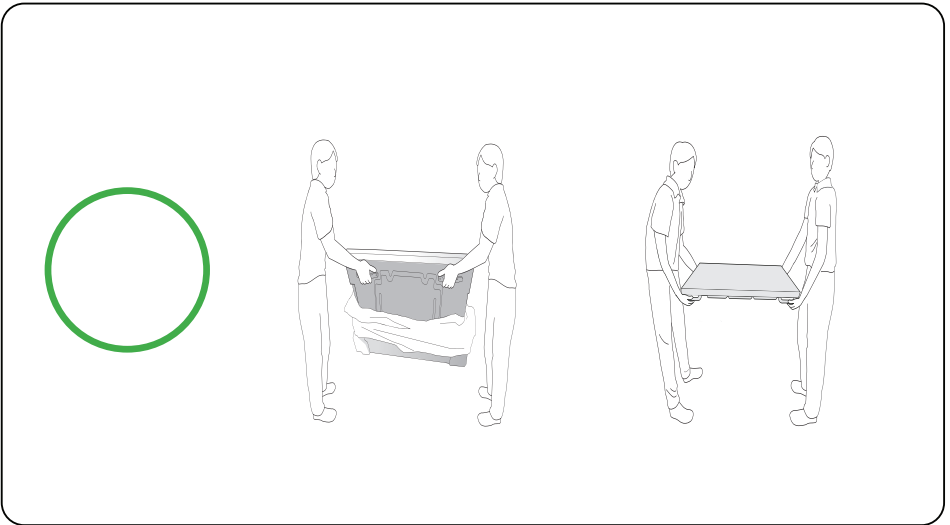
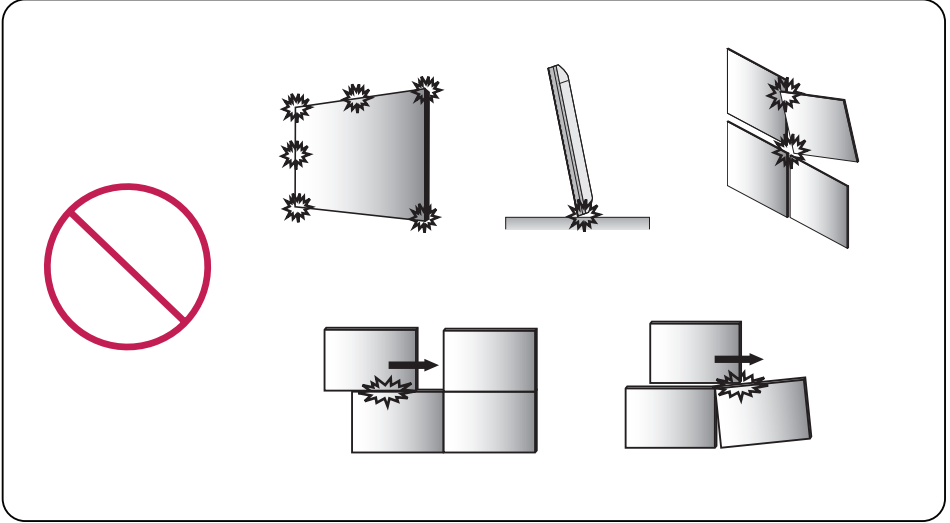


設置に関する安全および注意事項

設置時には、パネルと背面カバーの間の隙間や通気口から導電性材料（金属など）が入らないようにしてください。

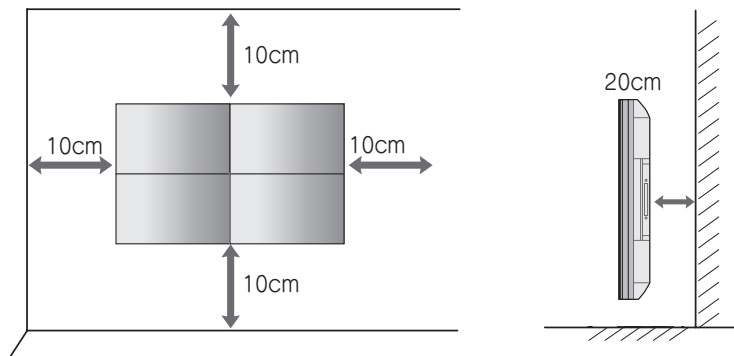
- 製品の背面を布で覆うと、異物の侵入や誤動作を防ぐことができます。
- 設置が完了したら、必ず布を取り除いてください。





壁への取り付け

モニターを壁面に取り付けるには（オプション）、付属品のVESA規格ネジを使用して固定してください。十分な通気性を確保するため、モニターは壁から20cm以上離して取り付け、モニターの両側は上下左右それぞれ10cm以上空けてください。VESA規格に準拠した壁掛けプレートおよびネジを使用してください。



⚠ 注意

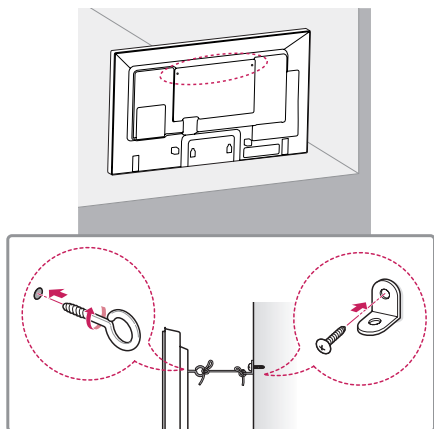
- モニターを移動、設置するときは、電源コードを抜いてから作業してください。そのまま作業すると感電するおそれがあります。
- モニターを天井または傾斜のある壁面に取り付けると、モニターの落下によって負傷するおそれがあります。設置については弊社販売代理店または専門の設置業者にご相談ください。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。過剰な締め付けによりモニターが損傷した場合は保証の対象外になります。
- 必ずVESA規格に適合するネジおよび壁掛けブラケットを使用してください。誤った設置方法や、不適切な部品の使用による事故や破損については保証いたしません。

✔ ヒント

- 通気性が悪い場所（本棚やクローゼットなど）や、カーペット、クッションの上には設置しないでください。壁に設置する場合は、設置する前に十分な通気性を確保できることを確認してください。
 - 通気が不十分な場合、内部温度の上昇により発火するおそれがあります。
- イラストは一般的な設置例を表しています。実際の設置事例とは異なる場合があります。

壁面へのモニターの固定（任意）

（モデルごとに異なります）



- 1 モニターの背面で、アイボルト、またはブラケットとボルトを挿入して締め付けます。
 - アイボルトの位置にすでにボルトが挿入されている場合は、最初にボルトを取り外してください。
- 2 壁ブラケットを壁面にボルトで取り付けます。壁ブラケットとモニター背面のアイボルトの位置が一致するようにしてください。
- 3 アイボルトと壁ブラケットを頑丈なコードでしっかりと結びます。固定するコードが平らな面に対して水平になっていることを確認してください。

⚠ 警告

- モニターを安定した場所に設置しないと、落下するおそれがあります。次のような簡単な予防策を講じることで多くの負傷（特にお子様の負傷）を回避できます。
 - モニターの重量を安全に支えることができる家具を使用する。
 - モニターを設置する家具の端から製品がはみ出さないようにする。
 - 背の高い家具（戸棚や本棚など）にモニターを設置しない（やむを得ず設置する場合は、家具とモニターの両方を適切な場所、強度で固定する）。
 - 布などを敷いた家具の上にモニターを設置しない。
 - モニターに触れるために家具の上に登らないようお子様に指導する。

⚠ 注意

- お子様モニターによじ登ったりぶら下がったりしないようにしてください。

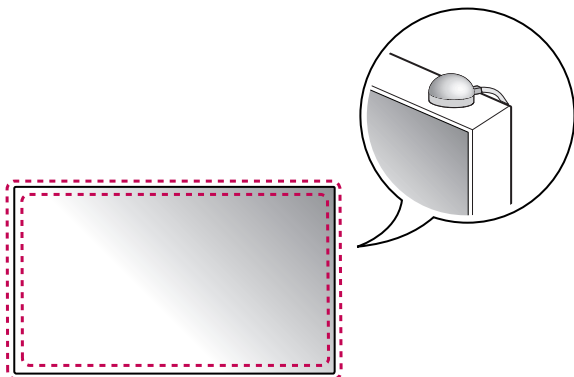
✔ ヒント

- モニターを安全に支えることが可能な大きさおよび強度の台またはキャビネットを使用してください。
- ブラケット、ボルト、およびコードは別売品です。お求めの際は、製品を購入した販売元にご相談ください。
- イラストは一般的な設置例を表しています。実際の設置事例とは異なる場合があります。

外部機器のセットアップ

IRレシーバー

IRレシーバーの使用により、リモコンセンサーをお望みの場所に設置することができます。
これにより、本製品はRS-232Cケーブルを接続することで別のモニターも操作することができます。



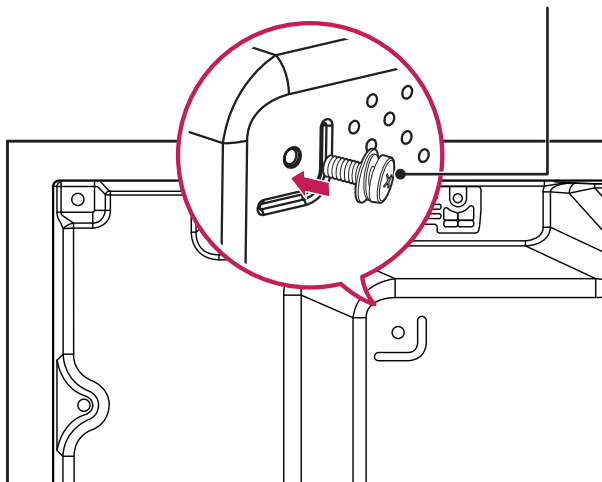
ディスプレイのタイリング

セットの取り付け方法

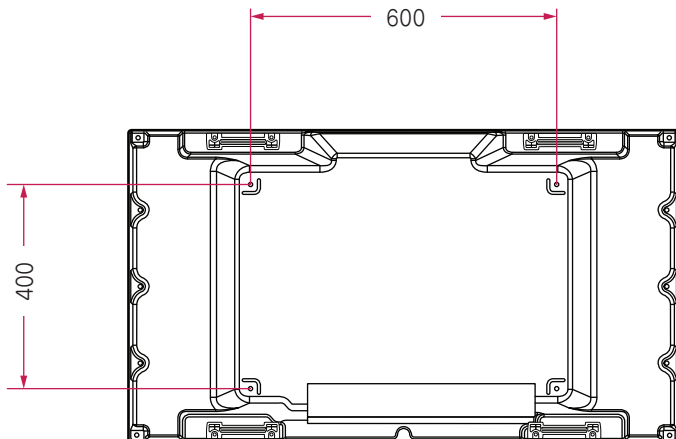
2 x 2タイルの例

VESA規格の壁掛け取り付け用ネジを使用して、モニターセットを壁掛けプレートまたは壁に取り付けます。

VESAウォールマウント取付ネジ
(M6)

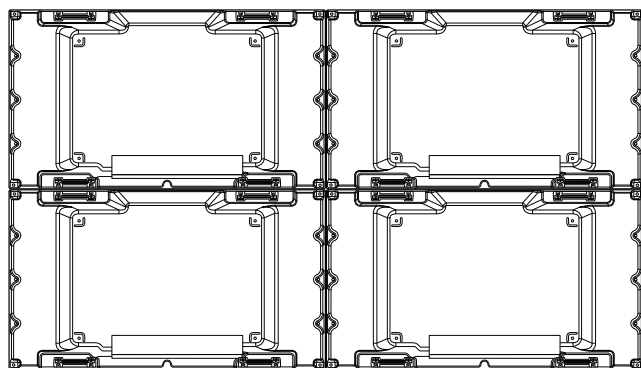


(単位：mm)



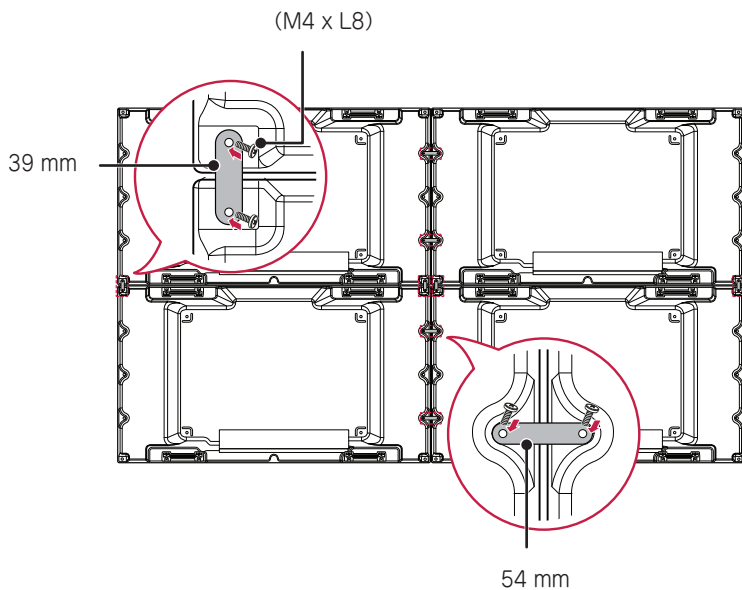
セットの結合方法

- 1 VESA規格の壁掛け固定用ネジを使用して、他のセットを上記と同様の手順で連結します。



残りのセットに結合されたセット4 (2×2タイル)

- 2 セットを連結したら、タイルの固定ガイドでセット間の隙間を調整します。



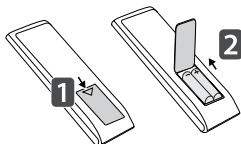
- 3 これで、2×2のタイルディスプレイが完了しました。タイル型は、3×3など、さまざまな組み合わせで使用できます。

✔ ヒント

- 各モニターにかかる負荷に対しては、VESA規格の壁掛け（600 x 400）を使用して、壁掛けプレートまたは壁で支える必要があります。
- VESA規格の壁掛けプレートで、各セットにかかる負荷を支えます（各セットが壁掛けプレートまたは壁にしっかり取り付けられている必要があります）。
- タイルの固定ガイドを使用せずにセットを取り付けることも可能です。デバイスの性能には影響しません。
- ネジはタイルの固定ガイドやその他の同梱品と一緒に入っています。

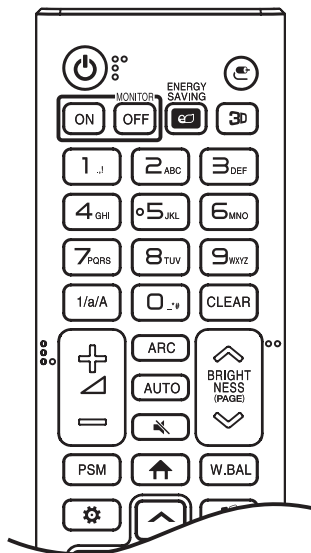
リモコン

本書では、リモコンのボタンで操作の説明をしています。本書をよくお読みいただいて、正しい方法でモニターを使用してください。電池を取り付けるには、電池カバーを開け、1.5 Vの単四電池を、⊕と⊖極の方向をボックス内のラベルの表示に合わせて取り付け、電池カバーを閉じます。電池を取り外すには、取り付けと逆の手順を行います。イラストはイメージです。実際の付属品と異なることがあります。



⚠ 注意


- リモコンが故障するおそれがあるので、古い電池と新しい電池は一緒に使用しないでください。
- リモコンは、必ずモニターのリモコンセンサーに向けて使用してください。
- モデルによっては、リモコンの一部の機能をサポートしていない場合があります。
- 製品の内部及び外部の電池は極端に高温な場所（直射日光のあたる場所や火など）に置かないでください。





⏻（電源）：モニターの電源のオン/オフを切り替えます。

MONITOR ON：モニターをオンにします。

MONITOR OFF：モニターをオフにします。

ENERGY SAVING ：画面の明るさを調整して、消費電力を抑えます。

（入力）：入力モードを選択します。

3D ：3Dモードに切り替えます。（本製品は対応していません。）
数字/アルファベットボタン

：設定に応じて数字またはアルファベットを入力します。


1/a/A：数字とアルファベットを切り替えます。（本製品は対応していません。）

CLEAR：入力した数字またはアルファベットを削除します。

（音量上/下ボタン）：音量を調整します。

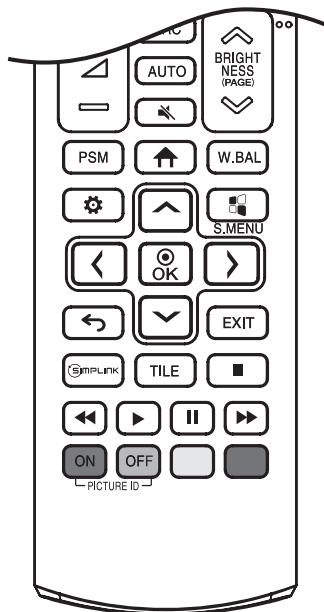
ARC：画面サイズを選択します。

AUTO：自動的に映像の位置を調整し、揺れを最小限に抑えます。
（これはRGB入力でのみサポートされています。）

（ミュート）：音量をミュートに設定します。

 **BRIGHTNESS** ：画面の明るさを調整します。

(PAGE) ：前または次の画面に移動します。



PSM：ピクチャーモードを選択します。

↑（ホーム）：ランチャーを起動します。

W.BAL：「ホワイトバランス」メニューが表示されます。

⚙（設定）：メインメニューへのアクセス、入力の保存、メニューの終了に使用します。

Ⓜ S.MENU：SuperSignメニューキーです。（本製品は対応していません。）

↑ ↓ ← →, **⦿**：メニューを選択した後、機能を選択して調整します。

↶（戻る）：前のレベルに戻ります。

EXIT：メニューを閉じます。

Ⓜ SIMPLINK：本製品に接続したSIMPLINKに対応したデバイスを操作できます。

TILE：タイルモードのオン/オフを選択できます。

⏮ ⏪ ⏩ ⏭（コントロールボタン）：メディアの再生を制御します。

PICTURE ID ON/OFF：ピクチャーIDとセットIDの番号が等しい場合に、該当のモニターをマルチディスプレイ形式で制御できます。

- **ON**：各モニターにイメージIDを割り当ててモニターを個別に制御します。
- **OFF**：一度にモニターを制御します。

接続

本製品にはさまざまな外部デバイスを接続できます。入力モードから外部デバイスを接続した映像入力端子を選択します。外部デバイスの接続の詳細については、各デバイスに付属する取扱説明書を参照してください。

PCへの接続

一部のケーブルは別売です。このモニターは、Plug and Play*機能に対応しています。

* Plug and Play機能：PCの電源がオンになっている状態で、デバイスを接続すると、設定や操作せずにPCが自動的にデバイスを認識する機能です。

外部機器接続

一部のケーブルは別売です。HDレシーバーやBlu-ray/DVDプレーヤー、ビデオデッキなどの映像機器をモニターに接続し、接続した入力端子を選択します。

最適な映像および音声品質を得るために、HDMIケーブルを使用して外部機器とモニターを接続することをお勧めします。


✔ ヒント

- 最適な画像品質を得るには、HDMI接続でモニターを使用することを推奨します。
- 本製品の仕様準拠するため、フェライトコア付きのシールドされたインターフェイスケーブル（D-sub 15ピンケーブルやDVI-D/HDMIケーブルなど）を使用してください。
- ハイスピードHDMI[®]/TM ケーブル（長さ3 m以内）を使用してください。
- HDMI口付きの認証済みケーブルを使用してください。認証されていないHDMIケーブルを使用すると、画面が表示されなかったり、接続エラーを起こすことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
 - ハイスピードHDMI[®]/TM ケーブル
 - イーサネット対応ハイスピードHDMI[®]/TMケーブル
- HDMI接続で音声が出力されない場合は、PCの設定を確認してください。一部のPCでは、基本の音声出力をHDMIに手動で変更する必要があります。
- HDMI端子にPCを接続して使用する場合は、PC/DTVをPCモードに設定する必要があります。
- HDMI端子にPCを接続して使用すると、互換性の問題が発生することがあります。
- 各ケーブルを接続する際は、電源コードが抜かれていることを確認してください。
- ゲーム機をモニターに接続する場合は、ゲーム機に付属するケーブルを使用してください。
- ハイスピードHDMI[®]/TMケーブルは、最大1080p以上のHD信号を送信します。
- なお、市販されているアダプターの中には、互換性のないものもあります。標準的なMacintoshアダプターを使用してください（信号システムが異なります）。
- このモニターにAppleのコンピューターを接続する場合、アダプターが必要になることがあります。詳細については、Appleに電話で問い合わせるか、AppleのWebサイトをご覧ください。
- 外部オーディオ機器を接続する場合は、オーディオアンプが搭載されている機器を使用してください。

⚠ 注意

- DVI-Dケーブルを接続する場合は、信号ケーブルを取り付けたら、左右のネジを時計回りに回して、固定してください。
- 液晶パネルを指で押さないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 一時的な残像を防ぐため、画面に静止画を長時間表示しないでください。なるべくスクリーンセーバーを使用してください。
- ワイヤレス機器がモニターの近くにある場合、映像が乱れるなどの悪影響を及ぼすことがあります。

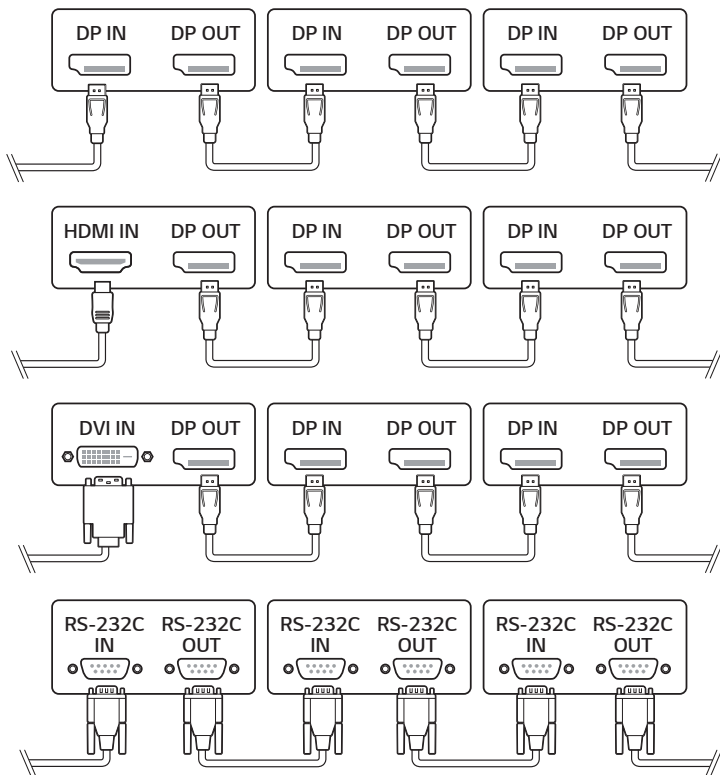
使用できる入力の種類

↑（ホーム） → 

- HDMI1 → HDMI2 → DVI-D → DisplayPort → USB

デジチェーンでのモニター接続

マルチ画面（複数のモニター）で使用するには、まず外部デバイスを本製品に接続し、対応の信号ケーブルを本製品の OUT（出力）コネクタともう一台のモニターの IN（入力）コネクタに接続します。



✔ ヒント

- 長い映像信号ケーブルでPCとモニターを接続する場合は、必ずブースターまたは光学ケーブルを使用してください。
- HDCPをサポートする入力デバイスによっては、デジチェーンでのビデオ出力接続が制限されている場合があります。

トラブルシューティング

- ▶ モデルによって確認する項目は異なります。
- ▶ PC側の設定については、Windowsヘルプをご参照ください。

使用に関する問題

- 電源が入らない。
 - 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうかを確認してください。
 - ACアダプターのブレード、接合部に汚れが付着していないか確認してください。
- 正常に認識されない。
 - PC（グラフィックカード）のドライバがインストールされているか確認してください。
 - PC（グラフィックカード）の取扱説明書を読んで、Plug and Play機能がサポートされているかどうかを確認してください。

画面に関する問題（ビデオ）

- 「信号がありません」または「形式が無効です」というメッセージが表示される。
 - PCと製品の間に信号ケーブルが接続されていないか、ケーブルの接続状態が不安定です。信号ケーブルを確認してください。
 - 機器が接続されている映像端子に設定されているか確認してください。リモコンで入力を切り替えてください。
 - PC（グラフィックカード）からの信号が、本製品の垂直周波数または水平周波数の範囲から外れていないか確認してください。本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、垂直走査周波数を設定してください。
- 画面の位置が正しくない。
 - グラフィックカードの解像度と周波数がモニターでサポートされているか確認してください。周波数がサポートされている範囲を超える場合は、PCの設定を推奨の解像度に設定してください。
 - D-Subアナログ信号 - リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。
- 画面が正常に表示されない。
 - 映像出力信号に適した映像信号ケーブルを接続してください。
- 画面上の画像がちらつく、不規則に振動する。
 - 本製品が冷えている状態でモニターの電源をオンにすると、画面がちらつくことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
 - グラフィックカードが表示している解像度と垂直走査周波数（リフレッシュレート）に本製品が対応しているか確認してください。
- 背景に縞模様が表示される。
 - D-Subアナログ信号 - リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。
- 水平方向のノイズが表示される、文字がぼやける。
 - D-Subアナログ信号 - リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。

画面（色）に関する問題

- 色合いが正常に表示されない。
 - PCのカラー設定を24ビット（True Color）以上にしてください。
- 画面の色が不安定またはモノクロになる。
 - 映像信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、グラフィックカードがスロットに正しく挿入されているか確認してください。※グラフィックカードの確認をする際は必ずPCの電源をコンセントから抜いて確認してください。
- 画面上に暗い点と明るい点が表示される。
 - 液晶パネルまたは有機ELパネルは非常に高精細に作られており、画面の一部にドット抜け（ごく小さな赤、緑、青、黒などの点）が見えることがあります。これは製品不良、故障ではありません。
- 画面が暗い。
 - 明るさとコントラストを調整してください。
 - バックライトの修理が必要な場合もあります。

音に関する問題

- 音が聞こえない。
 - オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - 本製品または外部デバイスの音量を調整してください。
 - サウンドが適切に設定されているか確認してください。
- 音がクリアでない。
 - イコライザーの設定を調整してください。
- 音量が小さすぎる。
 - 本製品または外部デバイスの音量を調整してください。
- 一部のモデルでは、スピーカーが内蔵されていないため、個別に外部スピーカーの購入が必要となる場合があります。

その他の問題

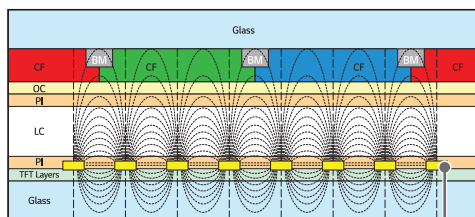
- 電源が突然オフになる。
 - スケジュール関連の設定で、自動オフ機能が有効になっていないか確認してください。
 - 電源が適切に供給されているか確認してください。本製品の電源コードが適切に接続されているか確認してください。
 - 電源コントロールの設定を確認してください。

残像

- 製品の電源をオフにすると、残像が表示されます。
 - 同じ画像を長時間表示しつづけると、ピクセルが焼きつくおそれがあります。焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバー機能を使用してください。
 - コントラストの高い画像（黒と白またはグレー）の表示後に黒い画像を表示させると、残像が発生する可能性があります。これは本製品の特性であり、不良や故障ではありません。
- LCDパネルが静止画を長時間表示した場合、液晶を動作させている電極間に電圧の差が生じることがあります。この電圧の差が電極間で徐々に高まっていくと、液晶が一定方向に停滞する傾向が強まります。このため、直前に表示されていた画像が残ることになります。この現象を残像と呼びます。
- 常に動きのある映像を表示している場合には残像は生じませんが、静止画を長時間表示すると残像が発生する場合があります。このため静止画を表示する際は、残像を防止するために以下の注意にしたがって本製品を使用することをお勧めします。最低12時間に1度は画面を切り替えることで、残像の発生を抑えることができます。さらに頻繁に切り替えを行うことで、より効果的に防止することができます。
- 望ましい動作条件

1 背景と文字の色を一定の時間間隔で切り替える。

- 色を切り替える際、補色（6色相環で正反対になる色）を表示させることで、残像の発生をより防ぎやすくなります。



ITOまたはMoTiピクセルレイヤー

2 画像を一定の時間間隔で切り替える。

- 切り替え前の文字や画像は、切り替え後も必ず同じ場所に表示されるようにしてください。



製品仕様

以下の製品仕様は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。

" ~ "は交流 (AC) を表し、" ≡ "は直流 (DC) を表します。

LCD画面	画面タイプ	薄膜トランジスター (TFT) 液晶表示 (LCD) 画面
映像信号	最大解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz - OSまたはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。
	推奨解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz - OSまたはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。
	水平周波数	HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / DisplayPort : 30 kHz~83 kHz
	垂直周波数	HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / DisplayPort : 56 Hz~60 Hz
	同期	セパレート同期、デジタル
入力/出力ポート		HDMI IN 1, HDMI IN 2, DVI-D IN, DP IN/OUT, USB 2.0 IN, AUDIO IN/OUT, LAN IN, IR IN, RS-232C IN/OUT
内蔵式バッテリー		適用
環境条件	動作温度	0 ° C~40 ° C
	動作湿度	10 %~80 %
	保管温度	-20 ° C~60 ° C
	保管湿度	5 %~85 %

49VL5G

LCD画面	ピクセルピッチ	0.55926 mm (横) x 0.55926 mm (縦)
電源	定格電力	100 V ~、50/60 Hz、1.3 A
	消費電力	オンモード : 100 W (標準) スリープモード : ≤ 0.5 W スタンバイモード : ≤ 0.5 W
寸法 (幅 x 高さ x 奥行) / 質量		1,077.6 mm x 607.8 mm x 89.7 mm / 16.9 kg

HDMI/DVI-D/DisplayPort (PC) のサポートモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480	31.469	59.94
800 x 600	37.879	60.317
1024 x 768	48.363	60
1280 x 720	44.772	59.855
1280 x 1024	63.981	60.02
1366 x 768	47.7	60
1680 x 1050	65.29	59.954
1920 x 1080	67.5	60

HDMI/DisplayPort (DTV) サポートモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480/60p	31.5	60
576/50p	31.25	50
720/50p	37.5	50
720/60p	45	60
1080/50i	28.1	50
1080/60i	33.75	60
1080/50p	56.25	50
1080/60p	67.5	60

 ヒント

- ケーブルをDVI-D、HDMIまたはDisplayPortに接続すると、PC/DTVモードをオプションで選択できます。PCに接続する場合はPCモード、その他の機器に接続する場合はDTVモードを選択することをお勧めします。DTVモードとは、PC接続以外のすべての機器への接続を指します。
- 水平走査周波数：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位はkHzです。
- 垂直走査周波数：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位はHzです。

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jpにアクセスしてください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Vision IQ、Dolby Audio、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズ ライセンシングコーポレーションの商標です。



製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル _____
シリアル番号 _____

この機器の電源をオンまたはオフにしたときの一時的なノイズは、正常な動作です。